

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
292冊(236人) 9/21 現在
文責 校長 宮脇 真一

三連休は台風の影響を受け、学校にも被害が出ました。幸いなことに、授業に支障はなく、倒木も教育委員会に素早く対応していただき、児童の登校前に撤去が完了しています。

（HPにて、状況掲載しています）

ご家庭での大きな被害は今のところ聞いておりませんが、何かありましたらお知らせください。



正門横の桜の木 撤去されました
(令和4年9月20日撮影)

第45回『部落差別をはじめあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会』について

感染症の影響で、この2年間実施が見送られてきた、「大津町児童生徒集会」が、本年度はオンラインでの開催ではありますが、10月15日（土）に、3年ぶりに開催されることになりました。この「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす大津町児童生徒集会」は、次に示す2点をねらいとしています。

- ・児童生徒の力で『大津町児童生徒集会』をつくりあげ、部落差別をはじめすべての差別をなくす行動をすることの大事さや人権の大切さを確認しあい、今までの各学校の取組を発表し意見交流をすることで差別をなくす行動をしていく決意をする。
- ・宣言文に込めた思いを参加者全員で共有する。

このように、大津町の子どもたちは、学校やこの大津町そして社会からすべての差別をなくすことをめざして、毎年この『大津町児童生徒集会』をつくりあげ、差別をなくすことの大事さや人権の大切さを確認し合い、自ら行動してきました。集会に参加することにより、差別・いじめ・なかまはずしなどのない楽しく安心した学校づくりのために、大津町内の子どもたちで元気や勇気を分かち合う場になることを願っています。

大津小学校では、5年生と6年生が学校の代表として参加予定です。本日、各担任からねらい等を説明し申込書を5年生と6年生に配付しています。

～気持ちを伝え合ってなかまづくり～ 1年生の人権学習

先週金曜日に配付された、1年生の学年通信です。人権学習の取組が紹介されています。

ぼく、うれしかったよ（人権学習）～気持ちを伝え合ってなかまづくり～

1年生は6月に「かお」（人権学習）に取り組みました。顔をよく見たら友だちの気持ちが分かることや友だちが困っていたら「大丈夫？」「どうしたの？」と声をかけるといいことなどを学習しました。入学して半年、学校生活にも慣れて友だちの輪も広がってきています。友だちが悲しい顔をしていると、心配して声をかけてくれる人もいて、やさしいなと心温まる場面を見かけることもたくさんあります。ただ、自分の思いをまだ伝えられなくて心がもやもやしている人もいます。

今回取り組んだ「ぼく、うれしかったよ」は本当に1年生であった話を教材にしてあります。主人公「ぼく」はいやだったことを涙を流しながらクラスの中へ伝えていきます。伝えることでクラスのみんなも気持ちに共感し解決することができます。「ぼく」の姿を通じて、子どもたちが日常生活の中で起きた、いやなことやおかしいことに気づき、あきらめずに自分の言葉で伝えていくことの大切さを学んでほしいと考え、授業に取り組みました。人権学習で学んだことを活かして、これからクラスの中で起こったこともみんなでお話し合いながら解決していきたいです。